

『研究概要の情報公開文書』

岩手医科大学 病理診断学講座では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせします。

研究課題名：

卵巣癌における microRNA 発現異常の解析

研究対象：

2015 年～2020 年における岩手医科大学医学部産婦人科学講座で外科的切除が施行された 50 症例を対象とします。

研究期間：倫理委員会承認日～2020 年 3 月 31 日

2) 研究の概要：

外科的切除が施行された検体から分離腫瘍腺管標本、分離腫瘍間質標本を採取し、microRNA (miRNA) の解析を行います。

3) 研究の意義：

卵巣癌の腫瘍腺管、腫瘍間質、それぞれにおける miRNA の発現異常について解析を行い、臨床病理学的因子との関連について解析します。

本研究により卵巣癌の腫瘍腺管、腫瘍間質それぞれに特徴的な miRNA や臨床的指標および再発のマーカーの開発に寄与することが期待されます。

4) 本研究の目的：

(1) 分離腺管を用いることで腫瘍腺管そのものにおいて、卵巣癌についてすでに報告されている miRNA が従来通りの発現を示すのかどうか検討し明らかにします。

(2) また、分離間質標本においても、卵巣癌に関係する miRNA が発現を示すのかどうか検討し明らかにします。

(3) 卵巣癌の miRNA を網羅的に解析し、臨床病理学的因子との関連について解析します。

本研究では卵巣癌の腫瘍腺管、腫瘍間質における miRNA の役割を解明することを目的とします。

5) 本研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、治療のために外科的に切除された検体を試料として用います。患者さんの情報として、年齢、性別、身長、体重、採血検査データ、臨床病理学的因子等の個人を特定できないものを研究に用います。

採取された検体の情報として、採取部位、腫瘍の大きさ、広がり、血管やリンパ管への浸潤の有無、リンパ節転移の有無などを用います。また、病理診断が終了したあとの検体を免疫組織化学（特定のタンパク質を切片で染める方法）や遺伝子（DNA や RNA など）の解析に試料として用います。

本研究のために新しい情報を収集したりすることはなく、患者さんに新たな負担や不利益が及ぶことはありません。

6) 個人情報保護に関する配慮：

本研究では個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は、個人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、プライバシー保護に努めます。

情報に関しては、個人が特定されないよう匿名化を行い、岩手医科大学医学部 病理診断学講座にてインターネットを介しないパーソナルコンピュータを用いて行います。データ（対応表と解析データを含む）はデバイスに暗証番号を用い鍵のついた保管庫に保管します。

患者さん等からのご希望があれば、その方の解析情報は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記の連絡先まで申し出てください。

6) 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：菅井 有（すがい たもつ）
岩手医科大学医学部 病理診断学講座
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111（内線 3123）
E-mail：tsugai(at)iwate-med.ac.jp
[(at)を@に変更してご利用ください]

研究事務局：佐藤 千絵（さとう ちえ）
岩手医科大学医学部病理診断学講座
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111（内線 8391）
E-mail：c.kurokawa0825(at)gmail.com
[(at)を@に変更してご利用ください]